

(2) G 進入路

a) マント群落・ソデ群落の生育状況

G 進入路のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-18、図 7.1.3-19 に示した。

G 進入路林縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落の早期形成を促した。また、GSM1、GSM5 については、平成 31 年 1 月にリュウキュウチクの再移植をおこなっている。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

GSM1 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、亜高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2.5~4.5m、植被率 1~10%、出現種 2~5 種、草本層が高さ 0.5~1.0m、植被率 3~20%、出現種 7~13 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 10%、出現種 2 種、草本層が高さ 1.2m、植被率 25~30%、出現種 14~21 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

GSM2 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 2.0~4.5m、植被率 3~10%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 0.8~1.0m、植被率 5~10%、出現種 6~19 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.0m、植被率 3~5%、出現種 4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 15~25%、出現種 11~13 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

GSM3 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、亜高木層が高さ 6.0m、植被率 20%、出現種 1 種、低木層が高さ 4.0m、植被率 25~30%、出現種 9~10 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 15%、出現種 18~22 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 6.0m、植被率 20%、出現種 1 種、低木層が高さ 4.0m、植被率 30~40%、出現種 9~10 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25~35%、出現種 25~27 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

GSM4 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 1.5~4.5m、植被率 5~15%、出現種 1~2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5%、出現種 13~19 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 1.5~1.7m、植被率 5~10%、出現種 1~2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5~35%、出現種 19~25 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

GSM5 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 2.0~4.5m、植被率 10~15%、出現種 1~3 種、草本層が高さ 0.8~1.0m、植被率 10~20%、出現種 17~21 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.0m、植被率 20~25%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25~30%、出現種 27~32 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

GSM6 は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 10～15%、出現種 2～5 種、草本層が高さ 0.7m、植被率 5～10%、出現種 10～13 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 15～20%、出現種 3～4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20～40%、出現種 13～18 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加傾向であった。

以上のことから、G 進入路では低木層、草本層ともに植被率が増加傾向にあり、マント群落・ソデ群落が概ね形成されつつあると考えられた。

表 7.1.3-18(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-1										GSM-2									
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度			
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	10	10	10	10	30	20	10	10	3	3	3	5	5	5
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	2	2	2	2	5	4	4	4	3	3	4	4	4	4
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	25	25	30	30	3	20	10	5	5	15	25	25	25	25
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	14	18	21	17	8	18	19	13	6	12	11	11	12	13
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	16	20	23	19	12	20	22	16	9	14	13	13	14	15
亜高木層(T2)																				
T2.1 モッコク	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1										
T2.2 スダジ(イタジイ)																				
T2.3 ハナガサノキ																				
低木層(S)																				
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3-3	2-3	1-3	1-3							3-3	2-3	1-3	1-3						
S.2 ハナガサノキ																				
S.3 タイミンタチバナ											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
S.4 リュウキュウチク																+	1-2	1-2	1-2	1-2
S.5 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	+	+								
S.6 ツゲモチ	+	+	+	+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1										
S.7 ギョクシンカ											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
S.8 イスノキ																				
S.9 ヤマヒハツ																				
S.10 シラタマカズラ																				
S.11 ヤブツバキ																				
S.12 ミズバイ																				
S.13 スダジ(イタジイ)																				
S.14 リュウキュウモチ											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
S.15 フカノキ																				
S.16 シマミサオノキ			+																	
S.17 イヌマキ																				
S.18 シロミズ																				
S.19 モチノキ																				
S.20 オキナワサルトリイバラ																				
S.21 ササバサンキライ																				
S.22 コバンモチ			+																	
草本層(H)																				
H.1 スダジ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+		+	+	+	+	+
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+					+	+
H.3 シマミサオノキ	1-2	1-2	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+							
H.4 ササクサ	+2	+2	1-2	+2	+	+	+	+	+	+		1-2	1-2	+2	+	+	+	+	+	+
H.5 ヤマヒハツ	+	+					+	+	+	+										
H.6 クロガヤ			+				+	+	+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1
H.7 シラタマカズラ										+	+									
H.8 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										
H.9 イヌマキ																				
H.10 シバ			+				+	+	+	+					+	+		+	+	+
H.11 オキナワサルトリイバラ			+	+			+	+	+											
H.12 リュウキュウチク																+	+	+	+	+
H.13 コシダ																				
H.14 シロノセンダングサ							+	1-2	1-2	2-2	2-2					+2	+2	1-2	1-2	1-2
H.15 タイミンタチバナ												+	+	+						
H.16 カクレミノ																				
H.17 ヒメユズリハ	+	+	+2	+2	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.18 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)												+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.19 オニタビラコ																				
H.20 タブノキ										+	+	+	+	+						
H.21 インドジャリンバイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツトに分布、4: かべツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-1												GSM-2											
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度							
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季				
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4			
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	10	10	10	10	30	20	10	10	3	3	3	5	5	5	5			
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	2	2	2	2	5	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4			
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	25	25	30	30	3	20	10	5	5	5	15	25	25	25	25			
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	14	18	21	17	8	18	19	13	6	12	11	11	12	13	13			
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	16	20	23	19	12	20	22	16	9	14	13	13	14	15	15			
草本層(H)																								
H.22 オオアレチノギク											+	+									+			
H.23 リュウキュウモチ																								
H.24 ヤブツバキ																								
H.25 エダウチホングウシダ											+													
H.26 クチナシ																								
H.27 シロミズ	+	+	+	+																				
H.28 コバンモチ	+	+		+							+	+												
H.29 ベニバナボロギク				+																				
H.30 リュウキュウチク (移植株)							3:3	3:3	3:3	3:3	3:3													
H.31 マンリョウ																								
H.32 カタバミ																								
H.33 イスノキ	+	+																						
H.34 ハルノゲン(ノゲン)																								
H.35 モッコク																								
H.36 ヒメジョオン																								
H.37 トベラ																								
H.38 アデク																								
H.39 シロダモ																								
H.40 ヤンバルミズバイ																								
H.41 タチズメノヒエ																								
H.42 コマツヨイグサ																								
H.43 タイワンルリミノキ																								
H.44 アメリカフウロ																								
H.45 ムツチャガラ																								
H.46 シンアクチ																								
H.47 エゴノキ																								
H.48 ホウキギク																								
H.49 リュウキュウマツ																								
H.50 モチノキ																								
H.51 ヤマダマ																								
H.52 ギョウギンバ																								
H.53 ダンドボロギク																								
H.54 オオバギ																								
H.55 ウスベニガナ																								
H.56 ササバサンキライ																								
H.57 ハゼノキ																								
H.58 ソテツ																								
H.59 ススキ																								
H.60 ヒサカキ																								
H.61 ツゲモチ																								
H.62 フカノキ																								
H.63 コバナヒメハギ																								
H.64 イジュ																								
H.65 アカメガシフ																								

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布、4: かへつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 斑状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-1												GSM-2								
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度				
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	10	10	10	10	30	20	10	10	3	3	3	5	5	5	5
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	2	2	2	2	5	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	25	25	30	30	3	20	10	5	5	5	15	25	25	25	25
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	14	18	21	17	8	18	19	13	6	12	11	11	12	13	13
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	16	20	23	19	12	20	22	16	9	14	13	13	14	15	15
草本層(H)																					
H. 66 テリミノイヌホオズキ																					
H. 67 カスマグサ																					
H. 68 ホシダ																					
H. 69 コミカンソウ									+												
H. 70 アキノノゲシ												+									
H. 71 シマニシキソウ													1・2								
H. 72 ギイマ																					
H. 73 ヤマモモ																					
H. 74 タイワンハチジョウナ																					
H. 75 セイヨウタンポポ																					
H. 76 ハイニシキソウ																					
H. 77 クロバイ																					
H. 78 コバノニシキソウ																					
H. 79 メヒシバ																					
H. 80 シナガワハギ																					

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-3										GSM-4									
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度			
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現種 (種)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	4.5	4.5	4.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	30	30	25	25	30	35	40	40	15	15	15	15	15	5	5	5	10	10
低木層(S)の出現種 (種)	9	9	10	10	10	9	9	9	10	9	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	15	15	15	15	25	30	35	35	<1	<1	5	5	5	5	10	30	35	35
草本層(H)の出現種 (種)	11	16	18	21	19	22	26	25	27	26	10	10	13	14	14	19	19	21	25	24
出現種数 (種)	17	20	23	24	22	24	28	28	29	28	10	10	13	14	14	20	20	22	25	24
亜高木層(T2)																				
T2.1 モッコク																				
T2.2 スダジイ(イタジイ)	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1										
T2.3 ハナガサノキ	+																			
低木層(S)																				
S.1 リュウキュウチク (移植株)	2-3	2-3	1-3	1-3	1-3						2-3	2-3	1-3	1-3	1-3					
S.2 ハナガサノキ	1-2	+	+	+	+	+	1-1	1-1	1-2	1-2						+	+	+		
S.3 タイミンタチバナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										
S.4 リュウキュウチク																+	1-1	1-2	1-2	1-2
S.5 ヒメズリハ																				
S.6 ツゲモチ																				
S.7 ギョクシンカ																				
S.8 イスノキ	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2										
S.9 ヤマヒハツ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	+	+	+	+	+										
S.10 シラタマカズラ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1										
S.11 ヤブツバキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										
S.12 ミズバイ	+	+	+	+	+	+	+	1-1	1-1	1-1										
S.13 スダジイ(イタジイ)																				
S.14 リュウキュウモチ																				
S.15 フカノキ																				
S.16 シマミサオノキ																				
S.17 イヌマキ	+	+	+	+	+	+			+	+										
S.18 シロミズ			+	+	+	+	+	+	+	+										
S.19 モチノキ																				
S.20 オキナワサルトリイバラ									+											
S.21 ササバサンキライ							+	+												
S.22 コバンモチ																				
草本層(H)																				
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+			+	+
H.3 シマミサオノキ	+	+	+	+		+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+
H.4 ササクサ	+2	+2	1-2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	1-2										
H.5 ヤマヒハツ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 クロガヤ	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	2-2	2-2	3-3	3-3									+	+
H.7 シラタマカズラ			+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+
H.8 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	1-1	1-2	1-2	1-2										
H.9 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 シバ																+	+	+	1-2	1-2
H.11 オキナワサルトリイバラ							+	+	+	+								+	+	+
H.12 リュウキュウチク											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.13 コシダ											+	+	+	+	+					
H.14 シロノセンダングサ						+	+	+2	+2	+2						+	+	+	2-3	2-3
H.15 タイミンタチバナ	+2	+2	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2										
H.16 カクレミノ				+		+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.17 ヒメズリハ							+													
H.18 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)			+																	
H.19 オニタビラコ				+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+
H.20 タブノキ					+		+	+	+	+										
H.21 インドジャランバイ																				

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-3												GSM-4								
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度				
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現種 (種)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	4.5	4.5	4.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	30	30	25	25	30	35	40	40	15	15	15	15	15	5	5	5	10	10	10
低木層(S)の出現種 (種)	9	9	10	10	10	9	9	9	10	9	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	15	15	15	15	25	30	35	35	<1	<1	5	5	5	5	5	10	30	35	35
草本層(H)の出現種 (種)	11	16	18	21	19	22	26	25	27	26	10	10	13	14	14	19	19	21	25	24	24
出現種数 (種)	17	20	23	24	22	24	28	28	29	28	10	10	13	14	14	20	20	22	25	24	24
草本層(H)																					
H.22 オオアレチノギク																					+2
H.23 リュウキュウモチ																					+ + + + + + + +
H.24 ヤブツバキ																					
H.25 エダウチホングウシダ																					
H.26 クチナシ																					+ +
H.27 シロミズ																					
H.28 コバンモチ																					
H.29 ベニバナボロギク																					+ + + +2 +
H.30 リュウキュウチク (移植株)																					
H.31 マンリョウ																					
H.32 カタビ																					
H.33 イスノキ																					
H.34 ハルノゲン(ノゲン)																					
H.35 モッコク																					
H.36 ヒメジョオン																					
H.37 トベラ																					
H.38 アデク																					
H.39 シロダモ																					
H.40 ヤンバルミズバイ																					
H.41 タチスズメノヒエ																					
H.42 コマツイグサ																					
H.43 タイワンルリミノキ																					
H.44 アメリカフウロ																					
H.45 ムツチャガラ																					
H.46 シンアクチ																					
H.47 エゴノキ																					
H.48 ホウキギク																					+2 +2 +2
H.49 リュウキュウマツ																					
H.50 モチノキ																					
H.51 ヤマダマ																					
H.52 ギョウギンバ																					
H.53 ダンドボロギク																					
H.54 オオバギ																					
H.55 ウスベニニガナ																					
H.56 ササバサンキライ																					
H.57 ハゼノキ																					
H.58 ソテツ																					
H.59 ススキ																					
H.60 ヒサカキ																					
H.61 ツゲモチ																					
H.62 フカノキ																					
H.63 コバナヒメハギ																					
H.64 イジュ																					
H.65 アカメガシワ																					

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-3										GSM-4									
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度			
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現種 (種)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	4.5	4.5	4.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7
低木層(S)の植被率 (%)	40	40	30	30	25	25	30	35	40	40	15	15	15	15	15	5	5	5	10	10
低木層(S)の出現種 (種)	9	9	10	10	10	9	9	9	10	9	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	15	15	15	15	25	30	35	35	<1	<1	5	5	5	5	5	10	30	35
草本層(H)の出現種 (種)	11	16	18	21	19	22	26	25	27	26	10	10	13	14	14	19	19	21	25	24
出現種数 (種)	17	20	23	24	22	24	28	28	29	28	10	10	13	14	14	20	20	22	25	24
草本層(H)																				
H.66 テリミノイヌホオズキ																				
H.67 カスマグサ																				
H.68 ホシダ																				
H.69 コミカンソウ																				
H.70 アキノノゲシ																				
H.71 シマニシキソウ																				
H.72 ギイマ		+																		
H.73 ヤマモモ								+												
H.74 タイワンハチジョウナ									+											
H.75 セイヨウタンポポ									+											
H.76 ハイニシキソウ																			+	
H.77 クロバイ																				
H.78 コバニシキソウ																				
H.79 メヒシバ																				
H.80 シナガワハギ																				

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(7) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-5										GSM-6										出現回数										
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度														
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季											
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現種 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	-	
低木層(S)の植被率 (%)	15	15	15	10	10	10	20	20	20	25	15	15	15	15	15	15	10	15	15	15	20	20	20	20	20	20	20	20	20	-	
低木層(S)の出現種 (種)	2	2	1	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	2	2	2	4	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	-		
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	10	10	10	20	25	25	30	30	<1	5	10	10	5	10	20	25	35	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-
草本層(H)の出現種 (種)	16	22	21	20	17	21	27	29	29	32	4	5	10	13	12	13	17	13	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	-
出現種数 (種)	17	23	21	22	19	23	27	30	30	33	5	6	11	15	14	14	19	16	17	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	-
亜高木層(T2)																															
T2.1	モッコク																												10		
T2.2	スダジイ(イタジイ)																													10	
T2.3	ハナガサノキ																													1	
低木層(S)																															
S.1	リュウキュウテク (移植株)	2-3	2-3	1-3	1-3	1-3	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-3	1-3	1-3	1-3														33		
S.2	ハナガサノキ																													23	
S.3	タイミンタチバナ																													20	
S.4	リュウキュウテク																													16	
S.5	ヒメユズリハ																													12	
S.6	ツゲモチ																													10	
S.7	ギョクシンカ																													10	
S.8	イスノキ																													10	
S.9	ヤマヒハツ																													10	
S.10	シラタマカズラ																													10	
S.11	ヤブツバキ																													10	
S.12	ミズバイ																													10	
S.13	スダジイ(イタジイ)																													10	
S.14	リュウキュウモチ																													9	
S.15	フカノキ	+	+		1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1																			9	
S.16	シマミサオノキ																													8	
S.17	イヌマキ																													8	
S.18	シロミズ																													8	
S.19	モチノキ																													7	
S.20	オキナワサルトリイバラ																													5	
S.21	ササバサンキライ																													2	
S.22	コバンモチ																													1	
草本層(H)																															
H.1	スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	56	
H.2	ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	47	
H.3	シマミサオノキ																													42	
H.4	ササクサ																													41	
H.5	ヤマヒハツ																													40	
H.6	クロガヤ	+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	38	
H.7	シラタマカズラ	+																												35	
H.8	シバヤブニッケイ																													29	
H.9	イヌマキ																													28	
H.10	シバ																													27	
H.11	オキナワサルトリイバラ																													25	
H.12	リュウキュウテク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	25	
H.13	コシダ	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	25	
H.14	シロノセンダングサ																													24	
H.15	タイミンタチバナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	23	
H.16	カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	23	
H.17	ヒメユズリハ																													21	
H.18	アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	21	
H.19	オニタビラコ																													21	
H.20	タブノキ																													19	
H.21	インドシャリンバイ																													18	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(8) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS 進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-5										GSM-6										出現回数				
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度								
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季					
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4			
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の出現種 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5			
低木層(S)の植被率 (%)	15	15	15	10	10	10	20	20	25	25	15	15	15	15	15	10	15	15	20	20	20	20			
低木層(S)の出現種 (種)	2	2	1	3	3	3	3	4	4	4	2	2	2	4	5	4	4	4	3	3	3	3			
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	10	10	10	20	25	25	30	30	<1	5	10	10	5	10	20	25	35	40	40	40			
草本層(H)の出現種 (種)	16	22	21	20	17	21	27	29	29	32	4	5	10	13	12	13	17	13	16	18	18	18			
出現種数 (種)	17	23	21	22	19	23	27	30	30	33	5	6	11	15	14	14	19	16	17	20	20	20			
草本層(H)																									
H.22 オオアレチノギク								+	+										+2	1-2	+	1-2	18		
H.23 リュウキュウモチ								+																17	
H.24 ヤブツバキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+														17	
H.25 エダウチホングウシダ			+		+		+	+	+															16	
H.26 クチナシ															+	+	+	+	+	+	+	+		16	
H.27 シロミミズ																								13	
H.28 コバンモチ	+								+															13	
H.29 ベニバナボロギク																		+	+2	+2	+			13	
H.30 リュウキュウテク (移植株)				+	+		1-2	1-2	1-2	1-2	1-2													12	
H.31 マンリョウ	+	+	+	+			+	+	+	+	+													11	
H.32 カタハミ															+	+	+	+	+	+	+	+		11	
H.33 イスノキ							+	+			+													10	
H.34 ハルノゲン(ノゲン)																		+	+	+				10	
H.35 モッコク																								10	
H.36 ヒメジョオン																				+	+2	+	+	+	10
H.37 トベラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+														10	
H.38 アデク					+						+	+	+											9	
H.39 シロダモ																								9	
H.40 ヤンバルミミズバイ																								9	
H.41 タチスズメノヒエ																			+	1-2	1-2	1-2	1-2	9	
H.42 コマツヨイグサ																								9	
H.43 タイワンルリミノキ																							+	9	
H.44 アメリカフウロ												+												8	
H.45 ムッチャガラ																								7	
H.46 シシアクチ																								7	
H.47 エゴノキ																				+	+		+	6	
H.48 ホウキギク																							+	6	
H.49 リュウキュウマツ					+			+	+												+	+		6	
H.50 モチノキ			1-1	1-1				+	+	+	+													6	
H.51 ヤマダマ											+	+												5	
H.52 ギョウギンバ																								5	
H.53 ダンドボロギク												+												4	
H.54 オオバギ			+	+																				4	
H.55 ウスベニガナ																								4	
H.56 ササバサンキライ											+	+	+											4	
H.57 ハゼノキ																					+		+	4	
H.58 ソテツ																								3	
H.59 ススキ											+	+												3	
H.60 ヒサカキ		1-1	+	+																				3	
H.61 ツゲモチ			+																					2	
H.62 フカノキ								+																2	
H.63 コバナヒメハギ																								2	
H.64 イジュ																								2	
H.65 アカメガシフ											+	+												2	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツト状に分布、4: かべツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-18(9) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地	GSM-5												GSM-6								出現回数				
	H29年度				H30年度				R1年度				H29年度				H30年度					R1年度			
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季		秋季	冬季	春季	夏季
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現種 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の植被率 (%)	15	15	15	10	10	10	20	20	25	25	15	15	15	15	15	10	15	15	20	15	20	20	20	20	
低木層(S)の出現種 (種)	2	2	1	3	3	3	3	4	4	4	2	2	2	4	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	10	10	10	20	25	25	30	30	<1	5	10	10	5	10	20	25	35	40	40	40	40	40	
草本層(H)の出現種 (種)	16	22	21	20	17	21	27	29	29	32	4	5	10	13	12	13	17	13	16	18	18	18	18	18	
出現種数 (種)	17	23	21	22	19	23	27	30	30	33	5	6	11	15	14	14	19	16	17	20	20	20	20	20	
草本層(H)																									
H.66 テリミノイヌホオズキ																								2	
H.67 カスマグサ																								2	
H.68 ホンダ																								2	
H.69 コミカンソウ																								1	
H.70 アキノノゲシ																								1	
H.71 シマニシキソウ																								1	
H.72 ギイマ																								1	
H.73 ヤマモモ																								1	
H.74 タイワンハチジョウナ																								1	
H.75 セイヨウタンポポ																								1	
H.76 ハイニシキソウ																								1	
H.77 クロバイ	+																							1	
H.78 コバノニシキソウ																								1	
H.79 メヒシバ																								1	
H.80 シナガワハギ																								1	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

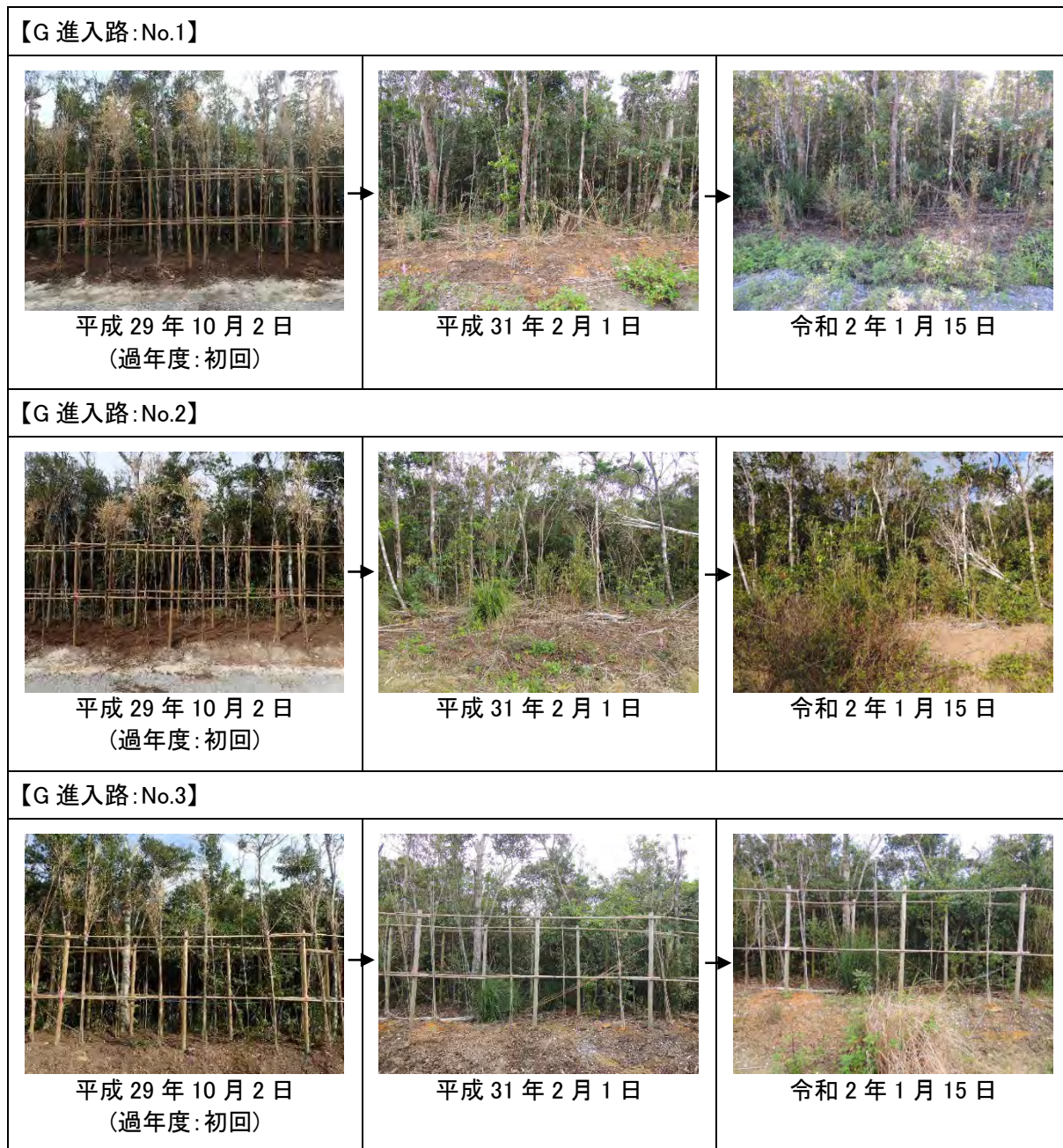


図 7.1.3-19(1) マント群落・ソデ群落の植生状況の推移(G 進入路)

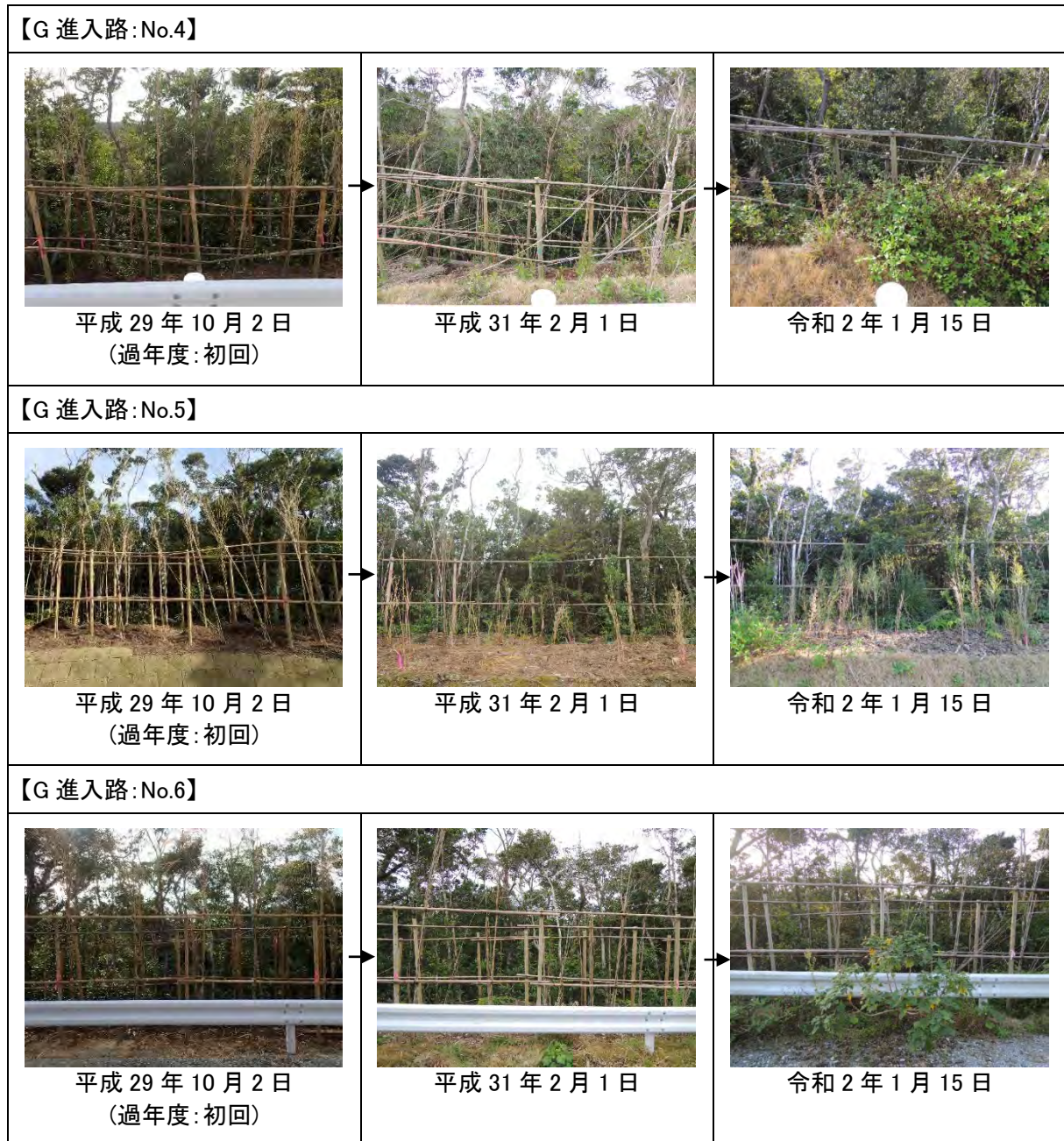


図 7.1.3-19(2) マント群落・ソデ群落の植生状況の推移(G 進入路)

(3) H 地区

a) マント群落・ソデ群落の生育状況

H 地区のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-19、図 7.1.3-20 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落の早期形成を促した。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 5.5m、植被率 25～30%、出現種 4～7 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25～40%、出現種 23～25 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 5.0～5.5m、植被率 30～50%、出現種 7～8 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40～60%、出現種 19～23 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

南側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 25～35%、出現種 9～12 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20～40%、出現種 24～28 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 35%、出現種 11～13 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 30～50%、出現種 28～31 種であった。過年度と比較すると、低木層に増減は無いが、草本層の植被率が増加していた。

東側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、亜高木層が高さ 7.0m、植被率 10～20%、出現種 2 種、低木層が高さ 3.5m、植被率 20%、出現種 5～6 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20～25%、出現種 17～22 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 7.0m、植被率 15～25%、出現種 2～3 種、低木層が高さ 3.5m、植被率 10～25%、出現種 5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25～30%、出現種 19～27 種であった。過年度と比較すると、低木層の植被率が僅かに減少したものの、草本層の植被率は増加していた。

西側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 4.0m、植被率 30%、出現種 3 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 5%、出現種 19～23 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.0m、植被率 30～40%、出現種 3～4 種、草本層が高さ 1.0～1.2m、植被率 5～10%、出現種 22～29 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率は増加していた。

以上のことから、H 地区では、全体的に低木層、草本層の植被率は増加しており、マント群落・ソデ群落が概ね形成されていると考えられた。

表 7.1.3-19(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H地区)

H マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側											
	H28年			H29年			H30年度			R1年度			H28年			H29年			H30年度			R1年度		
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
傾斜の向き	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の植被率 (%)	50	20	20	20	25	25	30	30	30	40	40	50	50	20	20	20	25	25	30	35	35	35	35	
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	4	4	4	4	7	6	7	7	8	8	4	8	6	5	9	11	11	12	13	12	11	
草本層(H)の高さ (m)	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	15	20	25	30	40	40	40	50	50	60	1	10	10	10	20	30	40	30	30	50	45	
草本層(H)の出現数 (種)	13	22	23	22	23	25	23	23	19	22	19	23	4	22	22	23	26	24	27	28	28	30	30	
出現種数 (種)	16	24	25	24	24	26	25	25	21	25	23	25	7	26	24	26	31	31	31	32	32	33	32	
亜高木層(T2)																								
T2.1 モッコク																								
T2.2 タイミンタチバナ																								
T2.3 アデク																								
低木層(S)																								
S.1 リュウキュウチク (移植)	3:3	2:3	2:3	1:2	2:2	2:2	2:2	2:2	2:2	2:2	2:2	2:2	3:3	2:3	2:3	+2	+2	+2	+	1:2	1:2	1:2	1:2	
S.2 イスノキ	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	
S.3 タイミンタチバナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
S.4 リュウキュウチク				1:1	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	2:2	2:2	2:2				+	+	+	+	1:1	1:1	1:1	1:2	
S.5 コバンモチ													+	+	+	+	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	
S.6 ハナガサノキ					+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+			+	+		
S.7 アデク								+								+					+	+	+	
S.8 カクレミノ	+	+	+	+							+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+	
S.9 シバヤブニッケイ								+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+	
S.10 イジュ								+	+	+	1:1	1:1	1:1					+	+	+	+	+	+	
S.11 シマミサオノキ														+	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	
S.12 ヤマヒハツ																								
S.13 シラタマカズラ																								
S.14 ミズバイ																+		+	+	+	+	+	+	
S.15 リュウキュウモチ																			+	+	+	+	+	
S.16 イヌガシ																				+	+	+	+	
S.17 オキナワサルトリイバラ										+		+	+											
草本層(H)																								
H.1 ササクサ	+2	+2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	2:2	2:2	2:2		1:2	1:2	1:2	2:2	2:2	3:3	2:2	2:2	3:3	2:3	
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.3 アデク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.4 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.5 クロガヤ		+	+	+	+2	+2	+2	+2	1:2	1:2	1:2	2:2				+	+	+	+2	+2	+2	1:2	1:2	
H.6 リュウキュウモチ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.7 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.8 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+												
H.9 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.10 マンリョウ	+						+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	
H.11 タイミンタチバナ														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.12 イスノキ		+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2				+	+	+	1:1	1:1	1:1	1:1	1:1	
H.13 アカメガシワ												+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.14 コバンモチ				+	+	+	+									+	+	+					+	
H.15 シンエダウチホングウシダ				+	+	+	+	+				+	+			+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	
H.16 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+									+	+	+	
H.17 ヤマヒハツ			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.18 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2				+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	
H.19 ギョクシンカ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	
H.20 リュウキュウチク	+	+2	+2	+	+	+	+2	+2	+2	+	+	+				+						+	+	
H.21 コシダ		+	+2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2	1:2												
H.22 カクレミノ														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.23 シロミズ																		+			+	+	+	
H.24 インドシャリンバイ		+														+	+	+	+	+	+	+	+	
H.25 モクレイシ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+												

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-19(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H 地区)

H マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側														
	H28年			H29年			H30年度			R1年度			H28年			H29年			H30年度			R1年度					
	秋季	夏季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	
傾斜の向き	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
至高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
至高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
至高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の植被率 (%)	50	20	20	20	25	25	30	30	30	40	40	50	50	20	20	20	25	25	30	35	35	35	35	35	35	35	
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	4	4	4	4	7	6	7	8	8	4	8	6	5	9	11	11	12	13	12	12	11	12	11	12	
草本層(H)の長さ (m)	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	15	20	25	30	40	40	40	50	50	60	1	10	10	10	20	30	40	30	30	50	50	45	50	45	
草本層(H)の出現数 (種)	13	22	23	22	23	25	23	19	22	19	23	4	22	22	23	26	24	27	28	28	30	31	30	30	31	30	
出現種数 (種)	16	24	25	24	26	25	25	21	25	23	25	7	26	24	28	31	31	31	32	32	33	34	32	32	34	32	
草本層(H)																											
H. 26 イジユ		+	+		1・1	1・1								+	+	+		+	+								+
H. 27 トベラ														+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H. 28 ヒサカキ																		+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H. 29 シロノセダングサ																					+	+	+	+	+	+	
H. 30 タブノキ	+				+	+	+	+	+		+	+	+													+	
H. 31 ウラジロカンコノキ			+											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 32 ツゲモチ														+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 33 ホルトノキ	+													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 34 シママサオノキ																										+	
H. 35 ギイマ																										+	
H. 36 トキワカメヅル	+	+	+	+		+	+	+	+		+	+															
H. 37 コバナヒメハギ			+	+	++	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+														
H. 38 ヘクソカズラ																											
H. 39 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)								+	+																		
H. 40 ハゼノキ																											
H. 41 ヒヨウタンカズラ													+														
H. 42 ソテツ																											
H. 43 オオバギ																											
H. 44 ムツチャガラ																											
H. 45 シシアクチ																										+	
H. 46 テガヤ																											
H. 47 ススキ																											
H. 48 サザンカ																										+	
H. 49 リュウキュウチク (再移)																										+	
H. 50 オニタビラコ																										+	
H. 51 																										+	
H. 52 イヌガシ																											
H. 53 エゴノキ																											

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下
 群 度→5：かべつ状に分布、4：かべつに穴が開いた状態、3：大きな斑を形成あるいはまだら状、2：斑状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-19(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H地区)

H マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数		
	H28年		H29年		H30年度				R1年度				H28年		H29年		H30年度				R1年度						
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季			
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
亜高木層(T2)の高さ (m)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	20	20	20	10	10	15	20	20	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の高さ (m)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0			
低木層(S)の植被率 (%)	60	60	40	20	20	20	20	20	20	25	20	10	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	40			
低木層(S)の出現数 (種)	5	5	5	5	6	6	6	5	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4			
草本層(H)の長さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2			
草本層(H)の植被率 (%)	10	15	15	15	20	20	20	25	25	30	30	30	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10			
草本層(H)の出現数 (種)	13	17	18	18	21	22	17	18	19	27	26	23	19	14	15	16	20	23	19	23	22	25	28	29			
出現種数 (種)	17	21	20	20	23	24	20	20	22	28	27	24	22	17	18	18	22	24	20	23	22	26	28	29			
草本層(H)																											
H. 26 イジュ													+							+	+		+	+	+	+	18
H. 27 トベラ		+			+	+	+	+	+	+	+																17
H. 28 ヒサカキ															+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	17	
H. 29 シロノセンダングサ						+				+	+	1-1					+	+	+	+	+	+2	+2	+2	17		
H. 30 タブノキ	+	+															+					+	+		15		
H. 31 ウラジロカンコノキ													+	+												13	
H. 32 ツゲモチ										+															+	13	
H. 33 ホルトノキ																										11	
H. 34 シママサオノキ			+							+	+	+	+													11	
H. 35 ギイマ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+														11	
H. 36 トキワカモメヅル																										10	
H. 37 コバナヒメハギ																										10	
H. 38 ヘクソカズラ		+	+		+	+				+	+															9	
H. 39 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)				+									+	+											+	9	
H. 40 ハゼノキ												+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	9	
H. 41 ヒヨウタンカズラ														+	+	+	+	+							+	7	
H. 42 ソテツ																			+	+	+	+	+	+	+	7	
H. 43 オオハギ			+														+		+	+						5	
H. 44 ムッチャガラ																										5	
H. 45 シシアクチ																										5	
H. 46 チガヤ							+		+2	+	+	+2														5	
H. 47 ススキ								+	+	+	+	+														5	
H. 48 サザンカ																										4	
H. 49 リュウキュウチク (再移)										1-2	1-2	1-2														3	
H. 50 オニタビラコ																									+	+	2
H. 51																											1
H. 52 イヌガシ														+													1
H. 53 エゴノキ															+												1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 斑状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

【H地区:北側】



平成 28 年 11 月 24 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 22 日

【H地区:南側】



平成 28 年 11 月 25 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 22 日

【H地区:東側】



平成 28 年 11 月 26 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 21 日

【H地区:西側】



平成 28 年 11 月 25 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



平令和 2 年 1 月 21 日

図 7.1.3-20 マント群落・ソデ群落の植生状況の推移(H地区)

b) 無障害物帯形成地の植生

H地区の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-20、図 7.1.3-21 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付シバや張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしている。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成30年度)において、草本層が高さ0.3~1.0m、植被率60~80%、出現種4~7種であった。今年度調査においては、草本層が高さ0.6m、植被率75~90%、出現種5~7種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は増加傾向であり、植生の回復が確認された。

南側は、過年度の調査(平成30年度)において、草本層が高さ0.3~0.8m、植被率70~80%、出現種8~17種であった。今年度調査においては、草本層が高さ0.6m、植被率75~80%、出現種5~9種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は概ね横ばいで推移していた。

東側は、過年度の調査(平成30年度)において、草本層が高さ0.3~0.6m、植被率100%、出現種3~7種であった。今年度調査において、草本層が高さ0.6m、植被率100%、出現種4~5種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は100%で維持されており、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成30年度)において、草本層が高さ0.2m、植被率100%、出現種3~5種であった。今年度調査においては、草本層が高さ0.4~0.6m、植被率100%、出現種3~6種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は100%で維持されており、植生の回復が確認された。

以上のことから、無障害物帯の植生は、概ね回復しており、過年度から高い植被率で維持されていると考えられた。

表 7.1.3-20(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(H地区)

H 無障害物帯	北側												南側											
	H29年			H30年度			R1年度						H29年			H30年度			R1年度					
	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季
傾斜の向き	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.8	0.8	1.0	1.0	0.7	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.2	0.2	0.2	0.3	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
草本層(H)の植被率 (%)	95	50	80	70	80	80	60	75	90	90	90	80	60	75	70	70	70	75	80	80	80	80	80	75
出現種数 (種)	5	4	6	7	6	7	4	5	5	5	5	7	3	8	12	17	10	9	8	7	6	5	5	9
草本層(H)																								
H.1 シロノセンダングサ				3-3	5-5	5-5	4-4	5-5	5-5	5-5	4-4					1-2	2-2	2-2	3-3	3-3	4-4	4-4	3-3	3-3
H.2 シバ		+2											1-2	3-3	2-2	2-2	2-2	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	1-2
H.3 ハマスゲ																								
H.4 ギョウギシバ		1-2	+	+2	+	+										3-3	3-4	3-4	3-3	3-3	1-2	+2	+	+
H.5 チガヤ							+	+	+	+	1-2							+	+2	1-2	2-2	2-2	2-2	2-2
H.6 カタバミ																		+						
H.7 オキナワサルトリイバラ								+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+
H.8 キバナニワゼキショウ	+		+	+	+												+	+	+	+				+
H.9 ダントロボギク			+														+	+						
H.10 タカサブロウ													1-1	2-2										
H.11 ケニオイグサ																								
H.12 オオアブラガヤ	+2	+	+	+	+	+																		
H.13 ヤマグワ																	+	+		+	+	+	+	+
H.14 ベニバナボロギク	+	3-3	5-5	2-2													+							
H.15 ササクサ								+	+	1-2	1-2	+												
H.16 コバナニシキソウ														3-3			+	+						
H.17 シマニシキソウ														1-1	1-2		+	+	+					
H.18 ホウキギク			+2	1-2	+							+												
H.19 オオアレチノギク								+									1-2	1-2	+2					
H.20 ホシダ					+	+	+																	
H.21 メシバ																	+	+	+					
H.22 コマツヨイグサ																		+	+					
H.23 コバンモチ					+	+																		
H.24 リュウキュウチク											+	+												
H.25 トキワハゼ														1-1	+									
H.26 ヒメブタナ																	+2	+						
H.27 ギンギン sp.																	+	+						
H.28 ヒナギキョウ																		+		+				
H.29 ホソバワダン																					+	+		
H.30 コメツブウマゴヤシ																								
H.31 ヒメオニササガヤ	5-5																							
H.32 アラゲヒメワラビ	+																							
H.33 ヒメジョオン						+																		
H.34 コバナヒメハギ								+																
H.35 ササバサンキライ											+													
H.36 ヒサカキ												+												
H.37 ススキ												+												
H.38 スズメノカタビラ														3-4										
H.39 チョウジタデ																	+							
H.40 ハマサルトリイバラ																	+							
H.41 ハイニシキソウ																		+						
H.42 スズメノエンドウ																								+
H.43 アメリカワロ																								+
H.44 ハハコグサ																								+
H.45 ツメクサ																								

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-20(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(H地区)

H 無障害物帯	東側												西側												出現回数
	H29年			H30年度			R1年度			H29年			H30年度			R1年度									
	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季							
傾斜の向き	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45			
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2			
草本層(H)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.6	0.6			
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
出現種数 (種)	4	5	6	7	5	5	3	4	5	5	5	3	3	4	5	4	5	3	6	3	4	4			
草本層(H)																									
H.1 シロノセンダングサ	+	+	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2	3・3	4・4	4・4	4・4			+	+	+	+	+	1・2	2・2	2・2	3・3	36		
H.2 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	34		
H.3 ハマスゲ	+・2	1・2	+・2	+・2	+・2	+・2		+	+	+		1・2	1・2	+・2	+・2	+・2	+・2		+		+		17		
H.4 ギョウギシバ																							14		
H.5 チガヤ												+											13		
H.6 カタミ	+・2	+	+	+	+	+			+	+	+				+							+	12		
H.7 オキナワサルトリイバラ																							11		
H.8 キバナニワゼキショウ																							10		
H.9 ダンドボロギク							+					+						+		+	+	+	10		
H.10 タカサブロウ												+	+	+	+	+	+	+					9		
H.11 ケノイグサ		+	+	+	+	+			+	+													7		
H.12 オオアブラガヤ																							6		
H.13 ヤマグワ																							6		
H.14 ベニバナボロギク																							5		
H.15 ササクサ																							5		
H.16 コバノニシキソウ			+	+																			5		
H.17 シマニシキソウ																							5		
H.18 ホウキギク																							4		
H.19 オオアレチノギク																							4		
H.20 ホシダ																							3		
H.21 メヒシバ																							3		
H.22 コマツヨイグサ																				+			3		
H.23 コバンモチ																							2		
H.24 リュウキュウテク																							2		
H.25 トキワハゼ																							2		
H.26 ヒメブタナ																							2		
H.27 ギシギシ sp.																							2		
H.28 ヒナギキョウ																							2		
H.29 ホソバワダン																							2		
H.30 コメツブウマゴヤシ								+												+			2		
H.31 ヒメオニササガヤ																							1		
H.32 アラゲヒメワラビ																							1		
H.33 ヒメジョオン																							1		
H.34 コバナヒメハギ																							1		
H.35 ササバサンキライ																							1		
H.36 ヒサカキ																							1		
H.37 ススキ																							1		
H.38 スズメノカタビラ																							1		
H.39 チョウジタデ																							1		
H.40 ハマサルトリイバラ																							1		
H.41 ハイニシキソウ																							1		
H.42 スズメノエンドウ																							1		
H.43 アメリカフウロ																							1		
H.44 ハハコグサ																							1		
H.45 ツメクサ				+																			1		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツト状に分布、4: かべツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 斑状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

【H地区:北側】



平成 29 年 7 月 21 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 22 日

【H地区:南側】



平成 29 年 7 月 21 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 22 日

【H地区:東側】



平成 29 年 7 月 21 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 21 日

【H地区:西側】



平成 29 年 7 月 21 日
(過年度:初回)



平成 31 年 1 月 25 日



令和 2 年 1 月 21 日

図 7.1.3-21 無障害物帯の植生状況の推移(H地区)

(4) N-1 地区

a) N-1(a) 地区

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-1(a)地区のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-21、図 7.1.3-22 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、既存のマント群落・ソデ群落が形成されていた東側を除く 3 地点で、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落の早期形成を促した。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 2.5m、植被率 60%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 0.5~0.8m、植被率 10~15%、出現種 16~19 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.5m、植被率 55~60%、出現種 3 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 15~20%、出現種 22~29 種であった。過年度と比較すると、低木層の植被率が僅かに減少したものの、草本層の植被率は増加していた。

南側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、高木層が高さ 8.5m、植被率 20%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 6.0m、植被率が 10~30%、出現種 5 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 10~20%、出現種 4~5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40~50%、出現種 28~35 種であった。今年度調査においては、高木層が高さ 8.5m、植被率 20%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 6.0m、植被率が 15~20%、出現種 4~5 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 25~30%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 50~60%、出現種 34~39 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

東側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 20%、出現種 2 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 30~40%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 10~15%、出現種 18~21 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 20%、出現種 2 種、低木層が高さ 2.5m、植被率 40~50%、出現種 2~3 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 15~25%、出現種 18~24 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

西側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 2.0m、植被率 30%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 0.5~0.8m、植被率 30~40%、出現種 32~37 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.0~2.5m、植被率 40~45%、出現種 4~5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 40~50%、出現種 36~39 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

以上のことから、N-1(a)では低木層、草本層の植被率が増加し、マント群落・ソデ群落が形成されていると考えられた。

表 7.1.3-21(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側											
	H29年度				H30年度				R1年度				H29年度				H30年度				R1年度			
	秋	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	秋	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
傾斜の向き	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	20
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10	20	20	20	15
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5	4	4	4	4
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	60	60	55	55	55	40	40	40	10	10	20	20	20	25	30	30
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4	3	3	4	4
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	20	20	20	50	50	40	40	50	50	50	50	60	60	60
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	22	26	29	29	21	26	28	27	35	31	28	30	35	34	39	38
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	24	28	31	30	26	29	31	29	36	33	30	32	37	35	41	38
高木層(T1)																								
T1.1 スダジイ(イタジイ)													2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1
亜高木層(T2)																								
T2.1 アデク													1-1	1-1	1-1	+	+	1-1						
T2.2 ヒメズリハ													2-2	2-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1
T2.3 イスノキ													1-1	1-1	1-1	1-1	+	1-1	+	+	+	+	+	+
T2.4 イヌマキ													1-1	1-1	1-1	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	+
T2.5 タイミンタチバナ													3-3	3-3	3-3	+2		+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1
T2.6 ギイマ													+	+	+	+	+	+	+	+				
T2.7 ハナガサノキ																								
T2.8 コバンモチ													1-1	1-1	1-1	+								
T2.9 ギョクシンカ																								
T2.10 モクレイシ																								
T2.11 フカノキ																								
低木層(S)																								
S.1 リュウキュウテク (移植)	3-4	4-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	2-2	2-2	2-2	3-3	3-3	3-3	3-3
S.2 リュウキュウテク													+2	1-2	1-2			+	+	+	+	+	+	+
S.3 アデク	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1												
S.4 イスノキ													1-2	1-2	1-2	+2	+	1-1	+	+	+	+	+	+
S.5 シバヤブニツケイ	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1												
S.6 ムツヤガラ																								
S.7 タイミンタチバナ																								
S.8 フカノキ																								
S.9 シラタマカズラ																								
S.10 ヒメズリハ																								
S.11 ヒサカキ																								
S.12 コバンモチ													1-2	+	+	+	+	+	+	+				
S.13 ギョクシンカ																								
S.14 ヤマグワ																								
S.15 リュウキュウアドウシ													1-2	1-2	1-2	+2								
S.16 ヤマヒハツ	1-1																							
S.17 スダジイ(イタジイ)																								
S.18 アカメガシフ																								
S.19 ハナガサノキ																								
S.20 リュウキュウモチ																								
S.21 インドジャランバイ																								
S.22 カクレミノ																								
S.23 シマミサオノキ																								
S.24 ササバサンキライ																								
S.25 アオバナハイノキ																								
S.26 トキワカモメツル																								
草本層(H)																								
H.1 ササクサ	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	+	+	+	+	1-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2
H.2 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H.3 タイミンタチバナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2	+2	+2	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべ'ツ状に分布、4: かべ'ツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-21(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側															
	H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				H28年度		H29年度				H30年度				R1年度			
	秋	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	60	60	55	55	55	40	40	40	10	10	10	20	20	20	25	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4	3	3	4	4	4	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	15	20	20	20	50	50	40	40	50	50	50	50	50	50	50	60	60	60	60	
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	22	26	29	29	21	26	28	27	35	31	28	30	35	34	39	38	38	38	38	
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	24	28	31	30	26	29	31	29	36	33	30	32	37	35	41	38	38	38	38	
草本層(H)																												
H.4 イスノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.5 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 オキナフサトリイハラ																												
H.7 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.8 ムツチャガラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 シンエダウチホグウシダ	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.11 クロガヤ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.12 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.13 ヤマヒハツ		+																										
H.14 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.15 ハナガサノキ																												
H.16 アカメガシワ																												
H.17 シシアクチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.18 アデク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.19 カクレミノ																												
H.20 シマサオノキ																												
H.21 コバンモチ																												
H.22 イジュ	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H.23 シロセンダングサ																												
H.24 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)	1・2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.25 インドジャリンバイ																												
H.26 ヒョウタンカズラ																												
H.27 ヒメユズリハ																												
H.28 ミズバイ																												
H.29 シロミズ	+																											
H.30 リュウキュウテク																												
H.31 リュウキュウテク (移植)																												
H.32 モクレイシ																												
H.33 ヤンバルミズバイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.34 ヒサカキ																												
H.35 タブノキ																												
H.36 フカノキ																												
H.37 マンリョウ																												
H.38 ヒサカキサザンカ																												
H.39 ハゼノキ																												
H.40 トキワカモメヅル																												
H.41 ホラシノブ																												
H.42 リュウキュウアリドゥシ																												
H.43 リュウキュウモチ																												
H.44 ツゲモチ																												
H.45 オオアレチノギク																												
H.46 ケホシダ																												
H.47 コバナヒメハギ																												
H.48 テガヤ																												

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-21(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側											
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度							
	秋季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
傾斜の向き	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10	20	20	15	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5	4	4	4	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	60	55	55	55	40	40	40	10	10	20	20	20	25	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4	3	3	4	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	15	20	20	20	50	50	50	40	40	50	50	50	50	60	60	
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	22	26	29	29	21	26	28	27	35	31	28	30	35	34	38	
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	24	28	31	30	26	29	31	29	36	33	30	32	37	35	41	
草本層(H)																								
H.49 ギョクシンカ																								
H.50 オニタビラコ																								
H.51 ナガバカニクサ(カニクサ)																								
H.52 モエジマシダ																								
H.53 ノボタン													+	+								+	+	
H.54 																								
H.55 ヤマモモ																								
H.56 サザンカ							+	+										+						
H.57 オオバギ																			+					
H.58 ヤマグワ																							+	
H.59 エゴノキ													+	+	+									
H.60 リュウキュウテイカスラ																								
H.61 タシロルリミノキ																								
H.62 イヌガシ																								
H.63 ヒカゲハゴ																								
H.64 ヤハズソウ													+	+2	+2									
H.65 ススキ																							+	
H.66 モッコク																		+	+					
H.67 マツバゼリ																								
H.68 チチコグサ																							+	
H.69 ヒメフタナ																							+	
H.70 ヤンバルアワブキ																							+	
H.71 シロダモ																							+	
H.72 クロミノキナワズメウリ																								
H.73 タチスズメノヒエ																								
H.74 ノアサガオ								+																
H.75 ゴンズイ																							+	
H.76 ホウキギク																							+	
H.77 ハスノハカズラ																							+	
H.78 セイヨウタンポポ																							+	
H.79 キハナニワゼキショウ																							+	
H.80 ギイマ																								
H.81 シバ																								
H.82 アキノノゲシ																								

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下
 群度→5：カベツト状に分布、4：カベツトに穴が開いた状態、3：大きな斑を形成あるいはまだら状、2：斑状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-21(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数																						
	H28年度		H29年度			H30年度			R1年度			H28年度		H29年度			H30年度			R1年度																											
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季																							
方位																																															
傾斜角度 (°)																																															
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4																						
高木層(T1)の高さ (m)																																															
高木層(T1)の植被率 (%)																																															
高木層(T1)の出現数 (種)																																															
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0																					
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																					
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5																				
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	40	40	40	45	50	25	25	25	25	30	30	30	30	40	40	40	45	45																					
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	3	3	4	4	4	4	4	5	4																					
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																				
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	15	20	25	25	25	20	20	20	30	40	40	40	40	40	45	50	50	50																					
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	18	24	22	24	20	21	27	27	32	37	35	34	39	36	38	38	38	38																					
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	19	25	23	25	24	23	29	29	35	39	38	37	41	37	39	39	39	39																					
高木層(T1)																																															
T1.1 スダジイ(イタジイ)																									12																						
亜高木層(T2)																																															
T2.1 アデク	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1	2-1													18																			
T2.2 ヒメズリハ																									12																						
T2.3 イスノキ																									12																						
T2.4 イヌマキ																									12																						
T2.5 タイミンタチバナ																									10																						
T2.6 ギイマ																									9																						
T2.7 ハナガサノキ																									9																						
T2.8 コバンモチ																									4																						
T2.9 ギョクシンカ	1-1	1-1	1-1	1-1																																							4				
T2.10 モクレイシ																									1																						
T2.11 フカノキ																									1																						
低木層(S)																																															
S.1 リュウキュウチク (移植)																									36																						
S.2 リュウキュウチク	4-4	3-3	2-3	2-3	2-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-4	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	33																			
S.3 アデク	1-1	1-1	1-1																																							26					
S.4 イスノキ	+																								13																						
S.5 シバヤブニッケイ																									12																						
S.6 ムッチャガラ																									12																						
S.7 タイミンタチバナ	+	+	+	+																																							10				
S.8 フカノキ																									10																						
S.9 シラタマカズラ	+	+	+																																												8
S.10 ヒメズリハ	1-2	+	+	+	+	+	+	+	+																														8								
S.11 ヒサカキ																									8																						
S.12 コバンモチ																									7																						
S.13 ギョクシンカ																									7																						
S.14 ヤマグワ																									6																						
S.15 リュウキュウアウドウシ																									4																						
S.16 ヤマヒハツ	1-1	1-1																							3																						
S.17 スダジイ(イタジイ)	+	+	+																						3																						
S.18 アカメガシワ																									3																						
S.19 ハナガサノキ																									2																						
S.20 リュウキュウモチ																									1																						
S.21 インドシャリンバイ																									1																						
S.22 カクレミノ	+																								1																						
S.23 シマミサオノキ	+																								1																						
S.24 ササバサンキライ	+																								1																						
S.25 アオバナハイノキ																									1																						
S.26 トキワカモメヅル																									1																						
草本層(H)																																															
H.1 ササクサ	2-3	+	+	+	+	1-2	1-2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+2	+2	+2	+	1-2	1-2	1-2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	48																			
H.2 シラタマカズラ	+2	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	48																				
H.3 タイミンタチバナ	1-2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-1	1-1	1-1	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	45																				

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツト状に分布、4: かべツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-21(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数
	H28年度			H29年度			H30年度			R1年度			H28年度			H29年度			H30年度			R1年度			
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	-																								
傾斜角度 (°)	-																								
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-																								
高木層(T1)の植被率 (%)	-																								
高木層(T1)の出現数 (種)	-																								
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	40	40	45	50	25	25	25	25	30	30	30	30	40	40	45	45	
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	3	3	4	4	4	5	4	
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	15	20	25	25	25	20	20	20	30	40	40	40	40	45	50	50	
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	18	24	22	24	20	21	27	27	32	37	35	34	39	36	38	38	
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	19	25	23	25	24	23	29	29	35	39	38	37	41	37	39	39	
草本層(H)																									
H.4 イスノキ	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	45	
H.5 ササバサンキライ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	44	
H.6 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	43	
H.7 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	42	
H.8 ムツチャガラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	42	
H.9 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	39	
H.10 シンエダウチホグウシダ															+2	+	+	+	+	+	+	+	+	36	
H.11 クロガヤ																								34	
H.12 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+														+2	+	+	+	+	+	+	+	+	33	
H.13 ヤマヒハツ																								33	
H.14 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	31	
H.15 ハナガサノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	31	
H.16 アカメガシワ																								30	
H.17 シシアクチ	+	+																						29	
H.18 アデク																								29	
H.19 カクレミノ	+2	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2												28	
H.20 シマミサオノキ	+																							26	
H.21 コバンモチ	1-2	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2												25	
H.22 イジユ																								24	
H.23 シロノセンダングサ																								24	
H.24 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)																								23	
H.25 インドシャリンバイ	+	+	+																					22	
H.26 ヒヨウタンカズラ																								20	
H.27 ヒメズリハ	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+												19	
H.28 ミミズバイ																								19	
H.29 シロミミズ																								18	
H.30 リュウキュウチク	+	+	+	+	+	+2	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2												17	
H.31 リュウキュウチク (移植)																								16	
H.32 モクレイシ																								15	
H.33 ヤンバルミミズバイ																								13	
H.34 ヒサカキ																								13	
H.35 タブノキ																								13	
H.36 フカノキ																								12	
H.37 マンリョウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+												12	
H.38 ヒサカキサザンカ																								12	
H.39 ハゼノキ																								11	
H.40 トキワカモメツル																								11	
H.41 ホラシノブ																								10	
H.42 リュウキュウアリドゥシ																								10	
H.43 リュウキュウモチ																								9	
H.44 ツゲモチ																								8	
H.45 オオアレチノギク																								8	
H.46 ケホシダ																								8	
H.47 コバナヒメハギ																								7	
H.48 テガヤ																								7	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 斑状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-21(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数
	H28年度		H29年度			H30年度			R1年度			H28年度		H29年度			H30年度			R1年度					
	秋季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季		
傾斜の向き	-																								
傾斜角度 (°)	-																								
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4		
高木層(T1)の高さ (m)	-																								
高木層(T1)の植被率 (%)	-																								
高木層(T1)の出現数 (種)	-																								
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	-		
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	40	40	45	50	25	25	25	30	30	30	30	40	40	45	45		
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	2	2	3	3	2	2	3	3	4	4	4	4	5	4		
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	15	20	25	25	25	20	20	20	30	40	40	40	45	50	50		
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	18	24	22	24	20	21	27	27	32	37	35	34	39	36	38		
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	19	25	23	25	24	23	29	29	35	39	38	37	41	37	39		
草本層(H)																									
H.49 ギョクシンカ				1・1	1・1	+	+	+							+								7		
H.50 オニタビラコ																	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+	7	
H.51 ナガバカニクサ(カニクサ)																	+	+	+	+	+	+	+	7	
H.52 モエジマシダ																	+	+	+	+	+	+	+	7	
H.53 ノボタン											+													6	
H.54 []	+	+	+	+	+	+	+	+																6	
H.55 ヤマモモ											+	+		+	+	+								6	
H.56 サザンカ																								5	
H.57 オオバギ											+					+	+	+						5	
H.58 ヤマグワ															+	+	1・1	1・1						5	
H.59 エゴノキ																								4	
H.60 リュウキュウヂイカズラ					+	+		+	+															4	
H.61 タシロリミノキ																+		+						4	
H.62 イヌガシ																+					+	+	+	4	
H.63 ヒカゲヘゴ																					+	1・1	1・1	1・1	4
H.64 ヤハズソウ																								3	
H.65 ススキ																								2	
H.66 モッコク																								2	
H.67 マンバゼリ																								2	
H.68 チチコグサ																								2	
H.69 ヒメブタナ																								2	
H.70 ヤンバルアワブキ																								2	
H.71 シロダモ	+																				+			2	
H.72 クロミオキナウスズメウリ																	+					+		2	
H.73 タチスズメノヒエ																					+	+		2	
H.74 ノアサガオ																								1	
H.75 ゴンズイ																								1	
H.76 ホウキギク																								1	
H.77 ハスノハカズラ																								1	
H.78 セイヨウタンポポ																								1	
H.79 キバナニワゼキショウ																								1	
H.80 ギイマ	+																							1	
H.81 シバ																					+			1	
H.82 アキノノゲシ																							+	1	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5：被度が75~100%、4：被度が50~75%、3：被度が25~50%、2：被度が10~25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下
 群度→5：かべつ状に分布、4：かべつに穴が開いた状態、3：大きな斑を形成あるいはまだら状、2：斑状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

【N-1(a)地区：北側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(a)地区：南側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(a)地区：東側】



平成 28 年 11 月 2 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(a)地区：西側】



平成 28 年 11 月 2 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

図 7.1.3-22 マント群落・ソデ群落の植生状況の推移(N-1(a)地区)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-1(a)地区の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-22、図 7.1.3-23 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付芝や張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしている。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.7~0.8m、植被率 100%、出現種 9~10 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.6m、植被率 100%、出現種 3~7 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は 100%で維持されていた。

南側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.3~0.6m、植被率 75~80%、出現種 13~21 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.6~1.0m、植被率 85~95%、出現種 11~20 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は増加傾向であり、植生の回復が確認された。

東側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.1~0.2m、植被率 100%、出現種 2~6 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.2m、植被率 90~100%、出現種 4~6 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率が僅かに減少したが、高い植被率を維持していた。

以上のことから、無障害物帯の植生は、概ね回復しており、過年度から高い植被率で維持されていると考えられた。

表 7.1.3-22(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) 無障害物帯	北側											
	H29年度			H30年度				R1年度				
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
調査区面積 (m ²)	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	
草本層(H)の植被率 (%)	100	90	90	100	100	100	100	100	100	100	100	
出現種数 (種)	8	9	12	10	9	9	9	7	3	4	5	
草本層(H)												
H.1 シバ	3・4	3・3	3・3	3・3								
H.2 チガヤ				1・2	1・2	4・4	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5	
H.3 シロノセンダングサ			+・2	2・2	2・3	2・3	3・3	2・2	2・2	2・2	2・2	
H.4 オオアブラガヤ	3・4	4・4	4・4	4・4	4・4	2・3	2・3	+・2				
H.5 ホシダ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.6 ホラシノブ		+			+	+	+					
H.7 ベニバナボロギク	1・2	+	1・2	+								
H.8 リュウキュウチク												
H.9 ヒナギキョウ			+	+								
H.10 ヤマヒハツ						+		+			+	
H.11 オニタビラコ												
H.12 オキナワサルトリイバラ					+	+	+				+	
H.13 ホウキギク					+							
H.14 キバナニワゼキショウ								+				
H.15 ヒリュウシダ												
H.16 ススキ	+		+		3・3	1・2	1・2			1・1		
H.17 ニワゼキショウ		+	+	+								
H.18 ササクサ		+					+	+				
H.19 チチコグサ												
H.20 オオアレチノギク												
H.21 アキノゲシ												
H.22 ヤハズソウ												
H.23 ハマスゲ												
H.24 ヒメブタナ			+									
H.25 ヒカゲヘゴ	+				+	+						
H.26 ハマサルトリイバラ	+	+・2		+								
H.27 コマツヨイグサ												
H.28 ダンドボロギク												
H.29 クロガヤ												
H.30 アデク	+		+									
H.31 インドシャリンバイ		+					+					
H.32 ワラビ			+	+								
H.33 ギョウギシバ			+									
H.34 イスノキ												
H.35 キキョウソウ												
H.36 クグテンツキ												
H.37 コバナヒメハギ												
H.38 イジユ												
H.39 アカマガシワ												
H.40 ヒサカキ												
H.41 ツゲモチ	+											
H.42 ヒメオニササガヤ												
H.43 マツバラン sp.												
H.44 インドヨメナ(コヨメナ)												
H.45 インチンナズナ												
H.46 アラゲヒメワラビ												
H.47 ホルトノキ												
H.48 コメツブウマゴヤシ												

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-22(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) 無障害物帯	南側											
	H29年度			H30年度				R1年度				
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW
傾斜角度 (°)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
調査区面積 (m ²)	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.6	0.6	0.3	0.6	0.6	0.6	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	90	50	60	80	75	75	80	85	95	95	95	95
出現種数 (種)	6	6	15	16	13	16	21	20	11	17	15	15
草本層(H)												
H.1 シバ	5・5	3・4	3・4	5・5	4・4	4・4	4・5	5・5	5・5	5・5	4・4	4・4
H.2 チガヤ				+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.3 シロノセンダングサ												
H.4 オオアブラガヤ	+	+	+	+	+	+						
H.5 ホシダ			+	+							+	+
H.6 ホランソブ		+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.7 ベニバナボロギク		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.8 リュウキュウチク		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 ヒナギキョウ	+			2・2	+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 ヤマヒハツ							+	+	+	+	+	+
H.11 オニタビラコ			+	+			+	+	+	+	+	+
H.12 オキナワサルトリイバラ			+	+					+			
H.13 ホウキギク					+	+	+	+		+	+	+
H.14 キバナニワゼキショウ							+	+	+			
H.15 ヒリュウシダ					+	+	+	+	+	+	+	+
H.16 ススキ												
H.17 ニワゼキショウ												
H.18 ササクサ	+		+	+								
H.19 チヂコグサ			+				+	+	1・2	+	+	+
H.20 オオアレチノギク				+	+	+	+	+				+
H.21 アキノゲシ				+	+	+	+	+		+	+	+
H.22 ヤハズソウ								+	+	+		
H.23 ハマスゲ												
H.24 ヒメブタナ			1・2				+	+	+			
H.25 ヒカゲヘゴ	1・2											
H.26 ハマサルトリイバラ												
H.27 コマツヨイグサ			1・2		+			+				
H.28 ダンドボロギク			+	+			+					
H.29 クロガヤ					+		+	+				
H.30 アデク												
H.31 インドシャリンバイ												
H.32 ワラビ												
H.33 ギョウギシバ			+									
H.34 イスノキ		+	+									
H.35 キキョウソウ				+				+				
H.36 クグテンツキ						+	+					
H.37 コバナヒメハギ							+					
H.38 イジュ									+		+	
H.39 アカメガシワ										+	+	
H.40 ヒサカキ										+	+	
H.41 ツゲモチ												
H.42 ヒメオニササガヤ	1・2											
H.43 マツバラ sp.				+								
H.44 インドヨメナ(コヨメナ)							+					
H.45 インチンナズナ								+				
H.46 アラゲヒメワラビ											+	
H.47 ホルトノキ											+	
H.48 コメツブウマゴヤシ												

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布、4: カベツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-22(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(a)地区)

N-1(a) 無障害物帯	東側											-	
	H29年度			H30年度				R1年度					
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	
草本層(H)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	出現回数
草本層(H)の植被率 (%)	95	95	95	100	100	100	100	100	100	100	100	90	
出現種数 (種)	1	1	1	3	3	2	6	5	4	6	6		
草本層(H)													
H.1 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	26
H.2 チガヤ							++2	++2	1・2	1・2	1・2	1・2	21
H.3 シロノセンダングサ					+		+	+			++2	1・2	18
H.4 オオアブラガヤ													14
H.5 ホシダ													14
H.6 ホラシノブ													14
H.7 ベニバナポロギク													11
H.8 リュウキュウチク													10
H.9 ヒナギキョウ													8
H.10 ヤマヒハツ													8
H.11 オニタビラコ													8
H.12 オキナワサルトリイバラ													7
H.13 ホウキギク													7
H.14 キバナニワゼキショウ							+	+				+	7
H.15 ヒリュウシダ													7
H.16 ススキ													6
H.17 ニワゼキショウ				+							+	+	6
H.18 ササクサ													6
H.19 チチコグサ													6
H.20 オオアレチノギク													6
H.21 アキノゲシ													6
H.22 ヤハズソウ								+	1・2	1・2			6
H.23 ハマスゲ				+	++2	++2	+		+	++2			6
H.24 ヒメブタナ													5
H.25 ヒカゲヘゴ													4
H.26 ハマサルトリイバラ													3
H.27 コマツヨイグサ													3
H.28 ダンドポロギク													3
H.29 クロガヤ													3
H.30 アデク													2
H.31 インドシャリンバイ													2
H.32 ワラビ													2
H.33 ギョウギシバ													2
H.34 イスノキ													2
H.35 キキョウソウ													2
H.36 クグテンツキ													2
H.37 コバナヒメハギ												+	2
H.38 イジュ													2
H.39 アカメガシワ													2
H.40 ヒサカキ													2
H.41 ツゲモチ													1
H.42 ヒメオニササガヤ													1
H.43 マツバラ	sp.												1
H.44 インドヨメナ(コヨメナ)													1
H.45 インチンナズナ													1
H.46 アラゲヒメワラビ													1
H.47 ホルトノキ													1
H.48 コメツブウマゴヤシ							+						1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布、4: カベツトに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

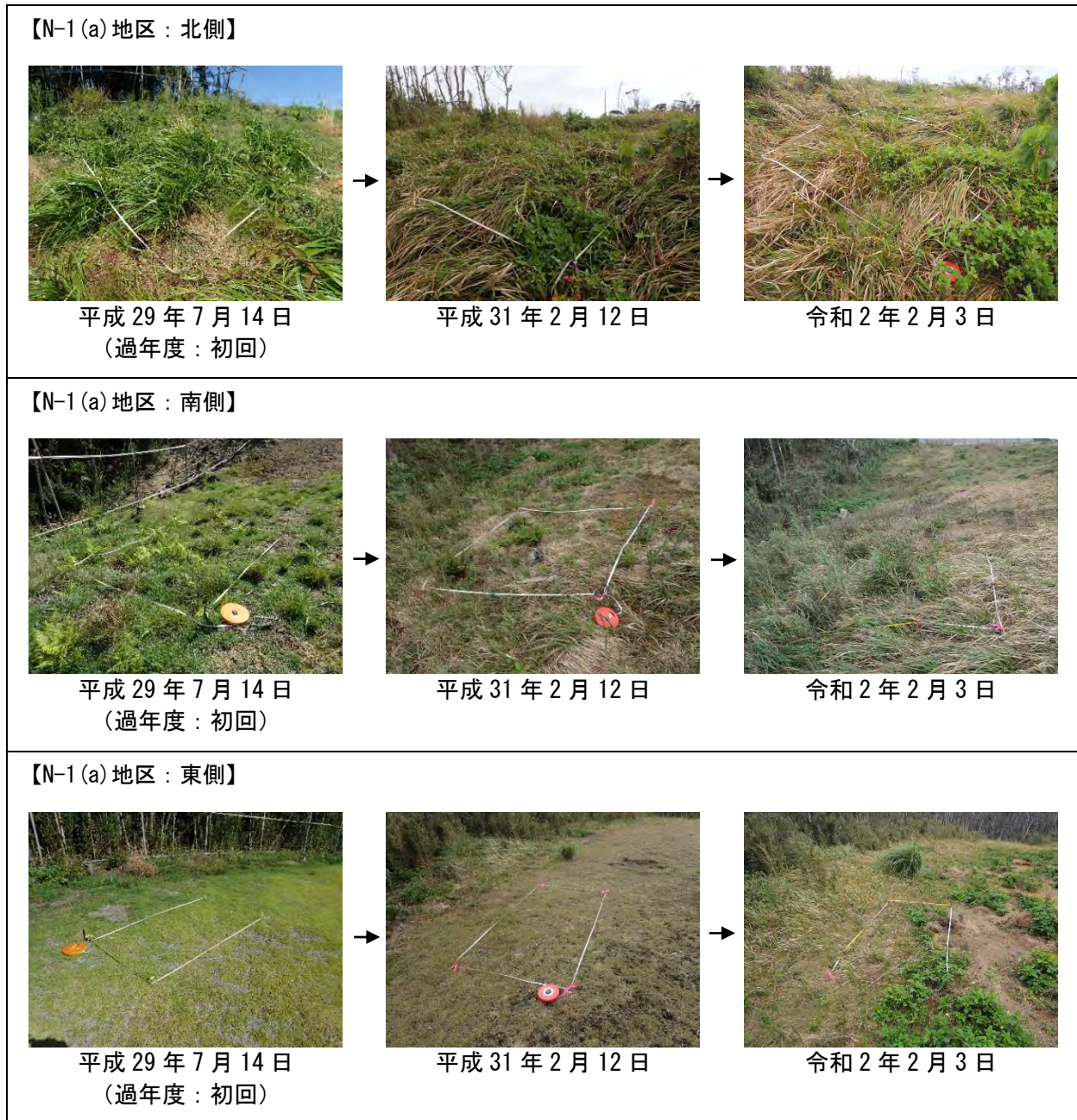


図 7.1.3-23 無障害物帯の植生状況の推移(N-1(a)地区)

b) N-1(b) 地区

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-1(b) 地区のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-23、図 7.1.3-24 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落の早期形成を促した。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、高木層が高さ 8.0m、植被率 30%、出現種 3 種、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 10%、出現種 1~2 種、低木層が高さ 3.0m、植被率 30~40%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.5m、植被率 25~30%、出現種 24~34 種であった。今年度調査においては、高木層が高さ 8.0m、植被率 25~30%、出現種 3 種、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 3.0m、植被率 40~60%、出現種 4 種、草本層が高さ 1.5m、植被率 30~40%、出現種 31~32 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

南側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、亜高木層が高さ 4.0m、植被率が 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2.0m、植被率 20~25%、出現種 2~3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5~10%、出現種 11~19 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 4.0m、植被率が 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2.0m、植被率 25~35%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5~15%、出現種 19~25 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

東側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、低木層が高さ 2.0~2.5m、植被率 30~45%、出現種 3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 15~20%、出現種 17~20 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.5m、植被率 30~35%、出現種 3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 15~30%、出現種 24~25 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が減少傾向から増加傾向となった。

西側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 10~15%、出現種 2~3 種、低木層が高さ 2.0m、植被率 40%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 10~20%、出現種 23~34 種であった。今年度調査においては、高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 5.0m、植被率が 15%、出現種 2~3 種、低木層が高さ 2.0m、植被率 40~50%、出現種 3 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20~35%、出現種 36~39 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加していた。

以上のことから、N-1(b) では低木層、草本層の植被率が全体的に増加し、マント群落・ソデ群落が概ね形成されていると考えられた。

表 7.1.3-23(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側															
	H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				H28年度		H29年度				H30年度				R1年度			
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
傾斜の向き	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	40	50	60	60	20	20	20	20	20	25	25	25	25	30	35	35	35	35		
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	2	2	2	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2		
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	30	35	40	40	10	5	5	5	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15		
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	32	31	31	31	24	19	11	9	11	17	19	15	19	23	25	20	20	20		
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	35	34	34	33	33	27	21	12	10	13	18	20	17	20	24	26	21	21	21		
高木層(T1)																												
T1.1 ヒメユズリハ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1																
T1.2 スダジイ(イタジイ)	3-2	3-2	2-1	2-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1																
T1.3 モッコク		+	+	+	1-1	+	+	+	1-1	1-1	1-1	+																
亜高木層(T2)																												
T2.1 イスノキ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1																
T2.2 シロミズ													1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	
T2.3 タイミンチバナ																												
T2.4 シラタマカズラ																												
T2.5 フカノキ	+	+	+	+	+	+	+																					
T2.6 モッコク													1-1	1-1														
T2.7 シキササノキ	1-1																											
低木層(S)																												
S.1 リュウキュウチク (移植)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	
S.2 イスノキ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1																
S.3 スダジイ(イタジイ)			1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	
S.4 リュウキュウチク	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	2-2	2-2	2-2											1-2	2-2	2-2	
S.5 カクレミノ																												
S.6 ギョクシンカ																												
S.7 フカノキ								+	+	+	+	+																
S.8 シラタマカズラ																												
S.9 シロダモ													1-1															
S.10 タイミンチバナ																												
S.11 ヒメユズリハ																		+										
S.12 ハナガサノキ																			+									
S.13 ヤンバルミズバイ																							+					
草本層(H)																												
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	1-2	1-2	1-2	+	+	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.2 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.3 タイミンチバナ	+							+	+	+	+	+				+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	
H.4 オキナワサルトリイバラ	+	+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.5 コバンモチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.6 シンエダウチホングウシダ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+														
H.7 ササクサ	+2	+	+	+	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	2-2	2-2	2-2	+2	+													+	
H.8 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+											
H.9 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+					
H.10 アデク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										+	
H.11 ヤマヒハツ					+	+	+	+	+	+	+	+										+	+	+	+	+	+	
H.12 オオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+					+	+	+		+	+	+	+	+	+	
H.13 リュウキュウチク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2											+	1-2	1-2	1-2	
H.14 クロガヤ					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										+	
H.15 リュウキュウモチ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+	
H.16 イスノキ													+	+	+	+												
H.17 リュウキュウチク (移植)	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3	2-3	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	
H.18 イジュ	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	1-2											
H.19 タブノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+											
H.20 アカメガシワ								+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布、4: かへつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-23(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側															
	H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				H28年度		H29年度				H30年度				R1年度			
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
傾斜の向き	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	40	50	60	60	60	20	20	20	20	20	25	25	25	25	30	35	35	35	35	
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	30	35	40	40	40	10	5	5	5	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	32	31	31	31	24	19	11	9	11	17	19	15	19	23	25	20	20	20	20	
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	35	34	34	33	33	27	21	12	10	13	18	20	17	20	24	26	21	21	21	21	
草本層(H)																												
H. 21 ハナガサノキ							+		+		+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 22 カクミソ																												
H. 23 インドシャリンバイ		+	+	+	+	+			+	+	+	+	+														+	+
H. 24 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+																							
H. 25 シロノセンダングサ							+	+	+	+	+	+	+														+	+
H. 26 ヒサカキ															+	+											+	+
H. 27 ハゼノキ									+	+	+	+	+															
H. 28 シマミサオノキ			+	+	+																							
H. 29 マンリョウ															+	+												
H. 30 ムッチャガラ							+	+																				
H. 31 ヒメズリハ	+							+	+																			
H. 32 オニタビラコ									+	+	+	+	+														+	+
H. 33																												
H. 34 シロミズ																												
H. 35 シロダモ	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+															+
H. 36 フカノキ		+	+						+	+	+	+	+															
H. 37 オオバギ				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+						
H. 38 ホラシノブ																											+	+
H. 39 ツゲモチ									+	+	+	+	+	+														
H. 40 ヤハズソウ																											+	+
H. 41 ナカハラクロキ																												
H. 42 エゴノキ		+	+	+	+	+							+															
H. 43 クロバイ																												
H. 44 コバナヒメハギ																												
H. 45 クロヘゴ																												
H. 46 ヤマグワ																												
H. 47 ヤンバルミズバイ																												
H. 48 ベニバナボロギク																												
H. 49 キキョウラン																												
H. 50 オニクマゴケ(ミドリカタヒバ)																												
H. 51 キバナニワゼキショウ																												
H. 52 ギョクシンカ																												
H. 53 オオアブラガヤ																												
H. 54 シバ																												
H. 55 モッコク																												
H. 56 ギイマ																												
H. 57 ウスベニガナ																												
H. 58 ホシダ																												
H. 59 オオアレチノギク																												
H. 60 アノクマタケラン																												
H. 61 クチナシ																												
H. 62 チチゴグサモドキ																												
H. 63 マツバゼリ																												

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-23(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	北側												南側																
	H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
傾斜の向き	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	40	50	60	60	20	20	20	20	20	25	25	25	25	30	30	35	35	35	35	35	
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	3	2	2	2	3	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	30	35	40	40	40	10	5	5	5	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	32	31	31	31	24	19	11	9	11	17	19	15	19	23	25	20	20	20	20	20	
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	35	34	34	33	33	27	21	12	10	13	18	20	17	20	24	26	21	21	21	21	21	
草本層(H)																													
H. 64 ケホシダ																													
H. 65 ヒサカキサザンカ																													
H. 66 ヒメイトビ																													
H. 67 モクレイン																													
H. 68 ヤマモモ																													
H. 69 オキナワズメウリ																													
H. 70 ヒナギキョウ																													
H. 71 テリミノヌホオズキ																													
H. 72 ハルノゲシ(ノゲシ)																													
H. 73 カタバミ																													
H. 74 ヒメブタナ																													
H. 75 クロミノオキナワズメウリ																													
H. 76 ニワゼキショウ																													
H. 77 ヤンバルアワブキ																													

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-23(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数									
	H29年度		H30年度		R1年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度																					
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季																		
方位																N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N				
傾斜角度 (°)																5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4							
高木層(T1)の高さ (m)																8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
高木層(T1)の植被率 (%)																10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
高木層(T1)の出現数 (種)																1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
亜高木層(T2)の高さ (m)																5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)																10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	15	15		
亜高木層(T2)の出現数 (種)																2	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3		
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0								
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	30	30	35	35	35	35	35	40	40	40	40	40	45	50	50	50	50									
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3									
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0									
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	15	20	30	30	10	10	10	10	10	20	20	20	20	30	35	35	35									
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	24	25	26	24	15	14	19	18	23	29	30	34	36	39	38	37	37									
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	22	25	26	25	18	17	22	20	23	30	32	36	37	40	40	40	39	39									
高木層(T1)																																		
T1.1 ヒメユズリハ																1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	24		
T1.2 スダジイ(イタジイ)																												12						
T1.3 モッコク																												11						
亜高木層(T2)																																		
T2.1 イスノキ																1-1	1-1	1-1	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	24		
T2.2 シロミズ																												11						
T2.3 タイミンチバナ																												10						
T2.4 シラタマカズラ																+	+	+	+	+													8	
T2.5 フカノキ																												7						
T2.6 モッコク																												2						
T2.7 シミサオノキ																												1						
低木層(S)																																		
S.1 リュウキュウチク (移植)	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	2-3	2-3	2-3	3-3	3-3	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	3-4	47								
S.2 イスノキ	+	+	+		+	1-1	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2													26									
S.3 スダジイ(イタジイ)																												25						
S.4 リュウキュウチク																												17						
S.5 カクレミノ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	11	
S.6 キョクシンカ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	8	
S.7 フカノキ																												5						
S.8 シラタマカズラ																+	+	+	+	+													4	
S.9 シロダモ	+	+																												3				
S.10 タイミンチバナ	+	+																												2				
S.11 ヒメユズリハ																												1						
S.12 ハナガサノキ																												1						
S.13 ヤンバルミズハイ																												1						
草本層(H)																																		
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	48								
H.2 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	46								
H.3 タイミンチバナ	+2				+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	46								
H.4 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	45								
H.5 コバンモチ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	44	
H.6 シンエダウチホングウシダ	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	42								
H.7 ササクサ	1-2	1-2	1-2	+2	+2	1-2	1-2	1-2	+2	+2	+2	+2	+2	1-2	1-2	1-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2	40								
H.8 イヌマキ	+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1	+2	+2	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	39								
H.9 ササバサンキライ	+																												39					
H.10 アデク																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	38	
H.11 ヤマヒハツ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	32	
H.12 アオブナハイノキ(ソウザンハイノキ)																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	31	
H.13 リュウキュウチク																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	28		
H.14 クロガヤ																+	+	+	+	+2	+2	1-2	1-2	1-2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	28
H.15 リュウキュウモチ																												26						
H.16 イスノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	26								
H.17 リュウキュウチク (移植)																												21						
H.18 イジュ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	21	
H.19 タブノキ																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	21	
H.20 アカメガシワ	+2																+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	21	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+ : 被度が1%以下
 群 度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-23(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数
	H29年度		H30年度				R1年度				H29年度		H30年度				R1年度								
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季					
方位	-												N												-
傾斜角度 (°)	-												5												5
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4			
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0			
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10			
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0				
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15			
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	3	2	2	2	3	3			
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	30	30	35	35	35	35	35	35	40	40	40	40	45	50			
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3	3	3			
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0				
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	15	20	30	30	10	10	10	10	20	20	20	30	35	35			
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	24	25	25	24	15	14	19	18	23	29	30	34	36	37			
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	22	25	26	26	25	18	17	22	20	23	30	32	36	37	40			
草本層(H)																									
H.21 ハナガサノキ																						+			
H.22 カクレミノ																						+			
H.23 インドシャリンバイ																						+			
H.24 シバヤブニッケイ																						+			
H.25 シロノセンダングサ																						+			
H.26 ヒサカキ																						+			
H.27 ハゼノキ																						+			
H.28 シママサオノキ																						+			
H.29 マンリョウ																						+			
H.30 ムツチャガラ																						+			
H.31 ヒメユズリハ																						+			
H.32 オニタビラコ																						+			
H.33																						+			
H.34 シロミズ																						+			
H.35 シロダモ																						+			
H.36 フカノキ																						+			
H.37 オオハギ																						+			
H.38 ホラシノブ																						+			
H.39 ツゲモチ																						+			
H.40 ヤハズソウ																						+			
H.41 ナカハラクロキ																						+			
H.42 エゴノキ																						+			
H.43 クロバイ																						+			
H.44 コバナヒメハギ																						+			
H.45 クロヘゴ																						+			
H.46 ヤマグワ																						+			
H.47 ヤンバルミズバイ																						+			
H.48 ベニバナボロギク																						+			
H.49 キキョウラン																						+			
H.50 オニクマゴケ(ミドリカタヒバ)																						+			
H.51 キバナニワゼキショウ																						+			
H.52 ギョクシンカ																						+			
H.53 オオアブラガヤ																						+			
H.54 シバ																						+			
H.55 モッコク																						+			
H.56 ギイマ																						+			
H.57 ウスベニガナ																						+			
H.58 ホシダ																						+			
H.59 オオアレチノギク																						+			
H.60 アオノクマケラン																						+			
H.61 クチナシ																						+			
H.62 チチコグサモドキ																						+			
H.63 マツバゼリ																						+			

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつ状に穴が開いた状態、3: 大きな斑を形成あるいはまだら状、2: 斑状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-23(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	東側												西側												出現回数				
	H28年度		H29年度				H30年度				R1年度				H28年度		H29年度				H30年度					R1年度			
	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	秋季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		春季	夏季	秋季	冬季
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	30	30	35	35	35	35	35	35	35	40	40	40	40	40	40	40	45	50	50		
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	15	20	30	30	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	30	35	35	35	35		
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	24	25	25	24	15	14	19	18	23	29	30	34	36	39	38	37	37	37	37		
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	22	25	26	26	25	18	17	22	20	23	30	32	36	37	40	40	40	39	39	39		
草本層(H)																													
H.64 ケホシダ																													2
H.65 ヒサカキサザンカ																													2
H.66 ヒメイタビ																													2
H.67 モクレイシ																													2
H.68 ヤマモモ																													1
H.69 オキナワスズメウリ																													1
H.70 ヒナギキョウ																													1
H.71 テリミノイヌホオズキ																													1
H.72 ハルノノゲシ(ノゲシ)																													1
H.73 カタバミ																													1
H.74 ヒメブタナ																													1
H.75 クロミ/オキナワスズメウリ	+																											1	
H.76 ニワゼキショウ																													1
H.77 ヤンバルアワブキ																													1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布、4: かべつに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

【N-1(b)地区：北側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：南側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：東側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：西側】



平成 28 年 11 月 1 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

図 7.1.3-24 マント群落・ソデ群落の植生状況の推移(N-1(b)地区)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-1(b)地区の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-24、図 7.1.3-25 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付シバや張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしている。

当該着陸帯における各調査地点の植生状況について、以下にまとめた。

北側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.3m、植被率 45～95%、出現種 3～13 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.5～1.0m、植被率 45～60%、出現種 9～15 種であった。過年度から、イノシシのものと考えられる掘り返しで草本層の植被率が大きく減少したが、今年度は植生の回復傾向が確認された。

南側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.2～0.3m、植被率 100%、出現種 1～4 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.3～0.8m、植被率 100%、出現種 4～7 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は 100%で維持されていた。

東側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.4～0.5m、植被率 95～100%、出現種 8～11 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.5m、植被率 100%、出現種 4～10 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は 100%で維持されていた。

西側は、過年度の調査(平成 30 年度)において、草本層が高さ 0.5～0.8m、植被率 100%、出現種 6～7 種であった。今年度調査においては、草本層が高さ 0.7～0.8m、植被率 100%、出現種 4～8 種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率は 100%で維持されていた。

以上のことから、北側でイノシシの掘り返しによる植被率の減少が見られたが、回復傾向にあった。

そのほかの地点については、過年度から高い植被率で維持されていると考えられた。

表 7.1.3-24(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) 無障害物帯	北側												南側											
	H29年度			H30年度				R1年度					H29年度			H30年度				R1年度				
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45		
調査区面積 (m ²)	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1		
草本層(H)の高さ (m)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	1.0	1.0	1.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.8	0.6	0.4			
草本層(H)の植被率 (%)	75	80	90	95	70	45	50	50	60	60	45	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
出現種数 (種)	6	6	6	8	10	3	13	15	9	11	10	1	1	1	1	2	2	4	4	4	6	7		
草本層(H)																								
H.1 シンバ	4・4	5・5	5・5	5・5	4・4	4・4	3・3	3・3	3・3	3・3	1・2	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5		
H.2 シロノセンダングサ							1・2	1・2	4・4	4・4	3・3				1・1	1・1	1・1	1・1	1・2	2・2	2・2			
H.3 オオアブラガヤ																								
H.4 オオアレチノギク				+	+	+		+													+	+		
H.5 ハマサルトリイバラ								+	+	+	+													
H.6 ベニバナポロギク				+・2	+・2	+		+・2																
H.7 ヤハズソウ									+										+・2	3・3	3・3	+		
H.8 ホシダ	+	+	+	+				+	+	+	+	+・2												
H.9 ハマスゲ																								
H.10 ギョウギシバ																								
H.11 ヒサカキ					+・2	+・2	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1													
H.12 キバナニワゼキショウ				+	+	+		+・2	+・2		+													
H.13 リュウキュウテク								+	+	+・2	1・2	1・2												
H.14 コバナヒメハギ																		+	+	1・2	1・2	+・2		
H.15 ササクサ	+	+	+	+	+																			
H.16 タチスズメノヒエ					+				+	+														
H.17 リュウキュウモチ			+	+	+	+																		
H.18 ツゲモチ					+			+	+			+												
H.19 アカメガシワ									+	+	+													
H.20 ウスベニガナ																					+	+		
H.21 コマツヨイグサ																								
H.22 ダンドポロギク				+				+・2																
H.23 ホウキギク								+	+													+		
H.24 ヒメズリハ									+	+	+													
H.25 オニタビラコ																								
H.26 カタバミ																								
H.27 ホルトノキ	+	+																						
H.28 インチンナズナ								+	+															
H.29 チチコグサ								+	+															
H.30 ホラシノブ											+	+												
H.31 イスノキ											+	+												
H.32 コメツブウマゴヤシ																								
H.33 ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)																								
H.34 アメリカゴウカン(ハイクサネム)																								
H.35 アゼガヤツリ																								
H.36 ヒナギキョウ																								
H.37 フラビ		+・2																						
H.38 ヒカゲヘゴ		+																						
H.39 コウライシバ			+																					
H.40 ヤマヒハツ					+																			
H.41 マツバゼリ									+															
H.42 ハイニシキソウ																								
H.43 タイヌビエ																								
H.44 シロツメクサ																								

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-24(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(b)地区)

N-1(b) 無障害物帯	東側												西側												出現回数
	H29年度			H30年度			R1年度			H29年度			H30年度			R1年度									
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季			
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7		
草本層(H)の植被率 (%)	95	95	95	95	100	100	100	100	100	100	100	100	95	95	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
出現種数 (種)	5	4	4	8	9	8	11	10	6	7	4	5	5	5	7	6	6	6	8	5	4	4	4		
草本層(H)																									
H.1 シンバ	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	5-5	4-5	4-4	2-2	5-5	5-5	4-4	5-5	5-5	5-5	5-5	4-5	4-5	2-2	44			
H.2 シロノセンダングサ	+			+	+	+	++	++	++	1-2	++				++	2-2	2-2	2-2	2-2	4-4	4-4	3-4	29		
H.3 オオアブラガヤ		+	+	1-1	2-2	2-2	2-3	3-3	4-4	4-4	5-5	1-2	2-2	2-2	3-3	3-4	3-4	3-4	3-3	3-3	3-4	21			
H.4 オオアレチノギク				+	++	+	++	++	++	++	++											14			
H.5 ハマサルトリイバラ													+	+	+	++	1-2	++	++	+	+	++	14		
H.6 ベニバナボロギク			+	+	+		+							+	+	+						11			
H.7 ヤハズソウ				+	1-1	1-1		+	1-2	++												11			
H.8 ホシダ																							9		
H.9 ハマスゲ	1-2	2-2	1-2	2-2	2-2	2-2	1-2	1-2															8		
H.10 ギョウギンバ												+	+	3-3	2-2	++	++	+	+				8		
H.11 ヒサカキ																							7		
H.12 キバナニワゼキショウ																							6		
H.13 リュウキュウチク																				+			6		
H.14 コバナヒメハギ					+																		6		
H.15 ササクサ																							5		
H.16 タチスズメノヒエ								+													+		5		
H.17 リュウキュウモチ																							4		
H.18 ツゲモチ																							4		
H.19 アカメガシワ		+																					4		
H.20 ウスベニガナ							+		+														4		
H.21 コマツヨイグサ				+		++	+	++															4		
H.22 ダンドボロギク					+																		3		
H.23 ホウキギク																							3		
H.24 ヒメズリハ																							3		
H.25 オニタビラコ					+	+	+																3		
H.26 カタバミ																+	+	+					3		
H.27 ホルトノキ																							2		
H.28 インチンナズナ																							2		
H.29 テチコグサ																							2		
H.30 ホラシノブ																							2		
H.31 イスノキ																							2		
H.32 コメツブウマゴヤシ							+																2		
H.33 ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)							+	+															2		
H.34 アメリカゴウカン(ハイクサネム)								+	+														2		
H.35 アゼガヤツリ												+	+										2		
H.36 ヒナギキョウ															+				+				2		
H.37 ワラビ																							1		
H.38 ヒカゲヘゴ																							1		
H.39 コウライシバ																							1		
H.40 ヤマヒハツ																							1		
H.41 マツバゼリ																							1		
H.42 ハイニシキソウ	+																						1		
H.43 タイスビエ	+																						1		
H.44 シロツメクサ												+											1		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%、4: 被度が50~75%、3: 被度が25~50%、2: 被度が10~25%、1: 被度が10%未満、+: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布、4: かべツに穴が開いた状態、3: 大きな班を形成あるいはまだら状、2: 班状に分布、1: 小群状あるいは単独に分布

【N-1(b)地区：北側】



平成 29 年 7 月 14 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：南側】



平成 29 年 7 月 14 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：東側】



平成 29 年 7 月 14 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

【N-1(b)地区：西側】



平成 29 年 7 月 14 日
(過年度：初回)



平成 31 年 2 月 12 日



令和 2 年 2 月 3 日

図 7.1.3-25 無障害物帯の植生状況の推移(N-1(b)地区)

5) 工事による副次的影響を復元した箇所における植生状況

工事による副次的影響を復元した箇所の植生の回復状況を図 7.1.3-26 に示した。

G 地区直近の作業ヤードについては、土壌流出防止対策のため、チップ剤によるマルチングが行われており、高さ 0.5m 程度の草本が僅かに生育していたが、植生の回復は不十分であった。

既存道路北側及びH地区付近の作業ヤードについては、別事業による工事の作業ヤードとして使用していることから、今年度春季で調査を中断していた。

その中で、米側から工事完了後の状態(砕石敷き)で当該作業ヤードを引き渡すよう要請があったため、当該作業ヤードにおける植生の復元は行わないこととした。

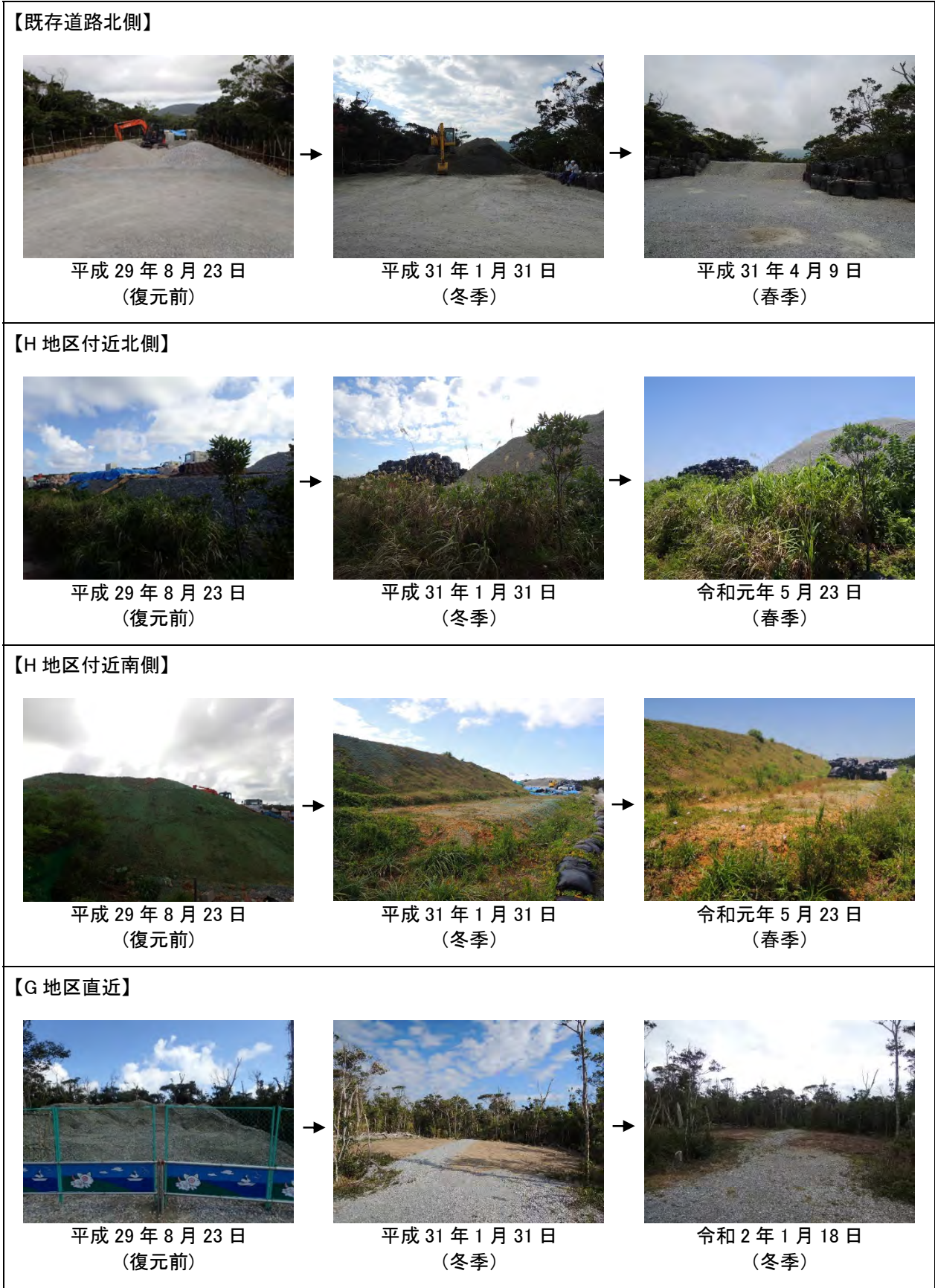


図 7.1.3-26 工事による副次的影響の復元箇所の回復状況